

会議の結果

件名	平成22年度第1回社会教育委員会議定例会
日時	平成22年5月28日(金曜日)午前9時30分～午前11時45分
場所	中部公民館
出席者	<p>社会教育委員 久保議長、高垣副議長、平野委員、千品委員、田ノ岡委員、鈴木委員、川根委員、近藤委員、西川委員、久保智委員、嶺口委員 計11名 (欠席)山本委員、岡本委員</p> <p>職員 中村教育長、(生涯学習課)小川生涯学習推進係長、三栖公民館係長、中山地域教育指導員、岡本主査、高根上秋津公民館主事、能城芳養公民館主事、大倉上芳養・中芳養公民館主事(スポーツ振興課)川合市民スポーツ係長、(文化振興課)平田課長、鈴木文化振興係長、児玉企画員、(天神児童館)梅田館長、松下主任、(図書館)太田次長、(龍神教育事務所)福島主任、(中辺路教育事務所)切本所長、(大塔教育事務所)岩本所長、辻大塔公民館主事(本宮教育事務所)関所長 計20名</p>

会議の開催前に、久保智委員が和歌山県社会教育委員連絡協議会長表彰を受賞されたので、紹介を行った。

1. 教育長挨拶

中村教育長から挨拶を行った。

久しぶりの晴天でございます。平成22年度第1回社会教育委員会にご出席をいただき、ありがとうございます。昨年度を振り返ってみますと、社会教育委員さんが積極的に課題を見つけ、自主的な展開をしていただいて、県下の中でも一番田辺市が充実しているのではないかと思います。今回もテーマを決めて、田辺市の活性化、人づくりのために展開をしていただいていることに大変ありがたく思っております。今年の2月には、文部科学省の生涯学習局から田辺市の生涯学習課の取組、学社融合の取組に視察が入りました。その中で、社会教育委員さんのご活躍も随所に報告をしております。非常に心強く感じた昨年度でございました。



田辺市では、地域づくり、地域の活性化が非常に大きな課題であります。最前線は公民館活動であると思っております。公民館がいかに関わり地域の人材を掘り起こし、地域で生きる喜びを確かめて、元気な地域づくりをしていくのが大切になります。その中で、分館の活動は地域の人材が流出してしまい、本当に厳しい環境にあります。このあと、分館のあり方も分科会で議論いただけるということではありますが、非常に厳しいところである分館の論議をいただき、提言をいただけるということは私たちにとっても大変ありがたいことでもあります。社会教育委員会議で一つの方向が出ましたら、是非、公民館や教育委員会に提言をしていただきたいと思います。皆さんの積極的な活動に感謝をしております、期待をしておりますので、今年も1年間よろしくをお願いします。

2. 議長挨拶

久保議長から挨拶を行った。

本日は本当に良い天気、平成22年度第1回にふさわしい日となりました。先日、高垣副議長、近藤委員さんとともに、県の総会に行ってきました。今年度、堀内先生に代わり県生涯学習センター長になられた出口先生の講演を聞かせていただきました。昨年の近畿大会でも講演をいただいた先生ですが、堀内先生とは一味違った、統計等を利用して非常にスマートに話される先生でした。

本日は22年度最初の委員会で、報告等も多くなっていますができるだけ早く進行できるようにご協力をお願いします。教育長からも身が引き締まるお言葉もいただきましたが、焦らずに一歩一歩進んでいきたいと思っておりますので、今年1年よろしくをお願いします。

[中村教育長 退席]

3. 説明事項

これより久保議長が進行を行う。時間設定等の説明を行った後、説明事項に入る。

【説明】

- ・(1)教育委員会機構図及び職員報告(4月人事異動による職員紹介)、
- (2)平成22年度田辺市教育行政基本方針について、小川生涯学習推進係長から説明を行った。
- ・(3)平成22年度各課活動方針について、各課から説明を行った。
- ・(4)「田辺市生涯学習推進計画」平成22年度実施計画について、小川生涯学習推進係長から説明を行った。
- ・(5)田辺市地域生涯学習計画について、(6)田辺市公民館職員のこころえについて、(7)平成22年度学社融合研修会について、三栖公民係長から説明を行った。
- ・(8)第3期「田辺市地域コーディネーター養成講座」について、小川生涯学習推進係長から説明を行った。



4. 報告事項

- ・(1)平成22年度3月議会 一般質問について、(2)田辺市新庄公民館長の任命について、(3)田辺市生涯学習(人権)推進員の委嘱について、(17)田辺市立美術館協議会委員の委嘱について、小川生涯学習推進係長から説明を行った。

【質疑応答】

質疑応答なし。

[生涯学習課、グループ協議参加職員以外の各課出席職員退席]

5. グループ協議

- ・グループ 重点アクションプランについての研究協議
(チーフ:久保議長、田ノ岡委員、近藤委員)
(職員:小川生涯学習推進係長、三栖公民係長)
- ・グループ 学社融合についての研究協議
(チーフ:高垣副議長、平野委員、千品委員、鈴木委員、川根委員)
(職員:中山地域教育指導員、能城芳養公民館主事、大倉上芳養・中芳養公民館主事)
- ・グループ 地区公民館、分館についての研究協議
(チーフ:西川委員、久保智委員、嶺口委員)
(職員:岡本主査、高根上秋津公民館主事、辻大塔公民館主事)



【各チーフから協議内容の報告】

・グループ 報告：久保議長

グループ は非常に幅広い課題の中で、どうしていくかですが、第3期地域コーディネーター養成講座が今年終了します。次の市民カレッジが一つの課題になっています。コーディネーター養成講座から市民カレッジに移行するプロセスや仕組み等を、秋を目処に大きな枠組みや方向性を検討していくことを確認しました。それと併せて、現在行われていますイブニングカレッジと市民カレッジの整合性をどうしていくかというところを、地元の話聞きながら、地域を見ながら検討していこうということになりました。次回、定例会とは別に6月10日にグループ協議を開催することとしました。



・グループ 報告：高垣副議長

今日は、上芳養小学校の平野先生から上芳養小学校の取組をお聞きしました。自分たちができない分野もありますが、あちこちを見させていただいて、人材バンクのようなものが出来れば良いかなと思っていて、それを作るノウハウを探っていけたら良いかなと思っています。とりあえず、今は私たちの勉強の時期かなと思い、とりあえず上芳養小学校に訪問をさせていただくことになりました。その時は皆さんにもご紹介をさせていただきます。



・グループ 報告：西川委員

今日は、3つの論点で協議をさせていただきました。1つ目はゴール像をどうするか、2つ目は若葉まつりに参加した感想、3つ目が若葉まつりへの公民館の関わりについて、話をしました。ゴール像としては、1つ目が社会教育委員として何ができるのか、社会教育委員が果たす実践的役割とは何か、2つ目が他の地区公民館、分館への成功モデルの波及をどうしていくかをテーマにさせていただいております。



1つ目の実践的役割については、新しい社会教育委員会議の仕組みづくりということで、次の委員さんに引き継ぐという意味でも、三川の現状と課題を学び、課題を教育委員会に伝え、グループ内でも協議を行い、実践的に参画をすることと同時に、最終的には報告書という形で教育長に提言することをゴールにしたいと考えています。

2つ目の成功モデルの波及ですが、これから三川公民館を中心とする事業に委員として参画して、三川の元気の源を分析することを通じて、報告書にまとめていきたいと思います。若葉まつりの感想については、三川を良くする会などの歴史的資料などを解かしていただきました。若葉まつりは、公民館が何をしたかということではなく、地域全体で盛り上げていっているのが実情だと思っています。そこに公民館と行政局などがサポートしているのが成功のポイントではないかと思ひますし、そういうところは公民館主事の養成にも繋がるのではないかと思ひます。

課題のところですが、まつりやイベントへ参加する人の移動手段が課題になっています。若葉まつりだけではなく、いろいろな事業やイベントに移動手段が無いために参加できないということは地域の課題だと思ひます。田辺市にもバスがありますが、制約もありますし、合併前から比べると、合併後は使い方も厳しくなっているのも現実です。どういふうにすれば、課題解決に繋がるのかということも今後、検討、研究していきたいと思ひます。

6. その他

(1) 次回の平成22年度第2回定例会の日程について

日程調整を行った結果、次回開催は下記のとおり。

- ・日時 平成22年7月23日(金) 午前9時30分～
- ・場所 市民総合センター
- ・内容 グループ協議の内容は各グループのチーフと事務局で調整

[久保議長]

全体を通して、何かご意見、ご質問はありませんか。

無いようでしたら、これで閉会したいと思います。閉会の挨拶を高垣副議長お願いします。

7. 閉会

高垣副議長から閉会の挨拶を行った。

1年間頑張って出口を探したいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。お疲れ様でした。